

# 情報連絡員報告総括表(平成30年8月分)

三重県中小企業団体中央会  
連絡員総数 40名  
回答数 40名 (100%)

業界の景気動向(前年同月比)

	売上高			在庫数量			販売価格			取引条件			収益状況			資金繰り			設備操業度			雇用人員 <small>(臨時・パートを含む)</small>			業界景況									
	増 加	不 変	減 少	増 加	不 変	減 少	上 昇	不 変	悪 化	好 転	不 変	悪 化	好 転	不 変	悪 化	好 転	不 変	悪 化	上 昇	不 変	悪 化	増 加	不 変	減 少	好 転	不 変	悪 化							
製 造 業	食 料 品	1	3			3	1	1	3			3	1		2	2		2	2		4			4			2	2						
	織 維 工 業	1	2			3		1	2			2	1		2	1		2	1		3			3			1	2						
	木 材 ・ 木 製 品		1				1		1			1			1			1			1			1			1							
	紙 ・ 紙 加 工 品	1	1			2			2			2			1	1		2			1	1		2			2							
	印 刷		1			1			1			1			1			1			1			1			1							
	化 学 ・ ゴ ム																																	
	窯 業 ・ 土 石 製 品			3		2	1		3			3			2	1		3			1	2		3			3							
	鉄 鋼 ・ 金 属		1			1			1			1			1			1			1			1			1							
	一 般 機 器	1	2			2	1		3			3			1	2		3			3		1	1	1		3							
	電 気 機 器	1				1			1			1		1			1			1				1		1								
輸 送 機 器	1				1			1			1		1			1			1			1			1									
そ の 他																																		
小 計	6	11	3		16	4	2	18			18	2	2	11	7	2	15	3	2	15	3	2	17	1	2	14	4							
非 製 造 業	卸 売 業		1	1		1	1		1	1		2			1	1		2		X				2			1	1						
	小 売 業	2	1	3		6		2	2	2		4	2	1	3	2		4	2					5	1	2	1	3						
	商 店 街	1			1			1				1			1			1						1			1			1				
	サ ー ビ ス 業	1		4	X				3	2		5			3	2		4	1					5			5			5				
	建 設 業	1	2	1					3	1		3	1		3	1		3	1					3	1		3	1		3	1		3	1
	運 輸 業			1					1			1			1			1						1			1			1			1	
	そ の 他		1						1			1			1			1						1			1			1			1	
小 計	5	5	10	1	7	1	3	11	6		17	3	1	12	7		16	4		17	2	1	17	2	2	12	6							
合 計	11	16	13	1	23	5	5	29	6		35	5	3	23	14	2	31	7	2	15	3	3	34	3	4	26	10							

## 最近の主要指標の前年同月比D Iの推移

(平成29年8月～平成30年8月)

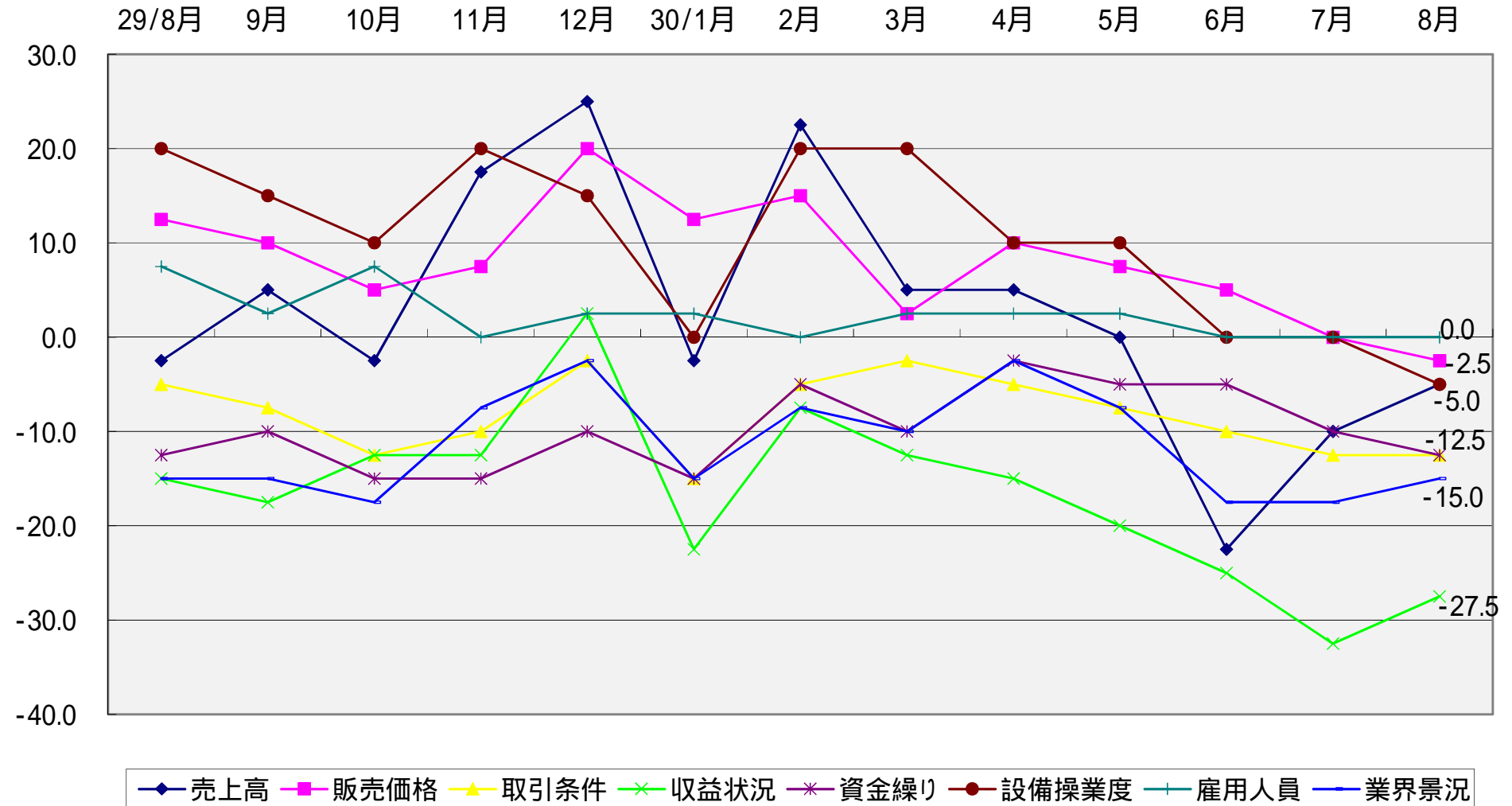
三重県中小企業団体中央会

連絡員総数 40名

	29/8月	9月	10月	11月	12月	30/1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	増減
売上高	-2.5	5.0	-2.5	17.5	25.0	-2.5	22.5	5.0	5.0	0.0	-22.5	-10.0	-5.0	5.0
販売価格	12.5	10.0	5.0	7.5	20.0	12.5	15.0	2.5	10.0	7.5	5.0	0.0	-2.5	-2.5
取引条件	-5.0	-7.5	-12.5	-10.0	-2.5	-15.0	-5.0	-2.5	-5.0	-7.5	-10.0	-12.5	-12.5	0.0
収益状況	-15.0	-17.5	-12.5	-12.5	2.5	-22.5	-7.5	-12.5	-15.0	-20.0	-25.0	-32.5	-27.5	5.0
資金繰り	-12.5	-10.0	-15.0	-15.0	-10.0	-15.0	-5.0	-10.0	-2.5	-5.0	-5.0	-10.0	-12.5	-2.5
設備操業度	20.0	15.0	10.0	20.0	15.0	0.0	20.0	20.0	10.0	10.0	0.0	0.0	-5.0	-5.0
雇用人員	7.5	2.5	7.5	0.0	2.5	2.5	0.0	2.5	2.5	2.5	0.0	0.0	0.0	0.0
業界景況	-15.0	-15.0	-17.5	-7.5	-2.5	-15.0	-7.5	-10.0	-2.5	-7.5	-17.5	-17.5	-15.0	2.5

(注1) 「D I」はデフレーション・インデックスの略で「増加」・「好転」したとする企業割合から、「減少」・「悪化」したとする企業割合を差し引いた値である。

### 最近の主要指標の前年同月比DIの推移



報告者名  
報告年月

三重県中小企業団体中央会  
平成30年8月

情報連絡一覧票

	集計上の分類業種	具体的な業種 (産業分類細分類相当)	組合等及び組合員の業況等(景況の変化とその原因・現状等、企業経営・業界での問題点)
製造業	食料品	醤油味噌	6月に法改正があり、その対応としてすべての組合員が営業許可の更新をできるようにするため、H A C C P の県組合説明会を10月、11月、12月に行う。
		豆腐	猛暑のため、電気代が増加して収益を圧迫した。
		製麺	麺業界も個人商店は毎年廃業者が出ていて、厳しい状況が続いている。当組合も伊勢うどんや生ラーメンに特化した所しか続けていけないのが現状である。しかし伊勢うどんは年々知名度もあがり、お土産やテレビ・マスコミ等で取り上げられている。今後全国に伊勢うどんの知名度を上げていける様に精進していく。
	紙・紙加工品	紙器段ボール	7月同様に、猛暑の影響で冷蔵食品向けの段ボールケースの出荷が増加した。企業の夏休み、お盆休みが多い月であったが、それぞれユーザーの生産も好調の様子である。
		古紙	8月の取扱重量は、前年比で段ボール：約99±7%、新聞・チラシ：約90±5%、雑誌・雑紙・その他合わせて約90±8%であった。8月も雨天と合わせて猛暑だったが、取引先や地域により古紙の入荷に差があった。7月同様に夏物需要の段ボール箱数は増加している模様である。新聞古紙は今までの様に大きく減少した。雑誌古紙も入荷が悪く、雑紙、その他を含めても前年割れの状況である。古紙持ち取り行為は、より活発になっているように感じる。
	印刷	印刷	今年も国・県の政策・予算に関して自民党と新政みえに以下の要望をした。予定価格の適正化と積算内訳書添付の義務化、出先機関の最低価格設定の導入、生産設備の無い会社に対する電子入札制限、地域の中小企業・小規模事業者への発注、著作権への理解、消費税増税時に転嫁できる予算立案等。
	窯業・土石製品	伊賀焼	7月に続き、8月も気候、ガソリン価格は好転せず、昨年と比べると売上、入館者数など大きく落ち込んだ。
	鉄鋼・金属	鍍金	当業界の生産量は7月と同様であった。組合アンケートによると、増加した企業が45%、横ばいが45%、減少が10%となっている。また、増加した産業では自動車42%、産業機械が33%、建築関連が17%、半導体関連が8%となっており、収益動向は生産量に比例している。産業別では自動車関連が61%、産業機械が10%、電気・半導体が9%、建築が6%、その他14%となっている。半導体関連は7月同様生産調整が続いている。
	一般機器	四日市	有効求人倍率は1.5を上回っているのに、中小企業の多くは人手不足、人材不足に直面している。外国人労働者の導入策、高齢者や女性の活用等が他国に比べて遅れている。
		伊勢	組合の年間行事として工場見学会と各種セミナーを実施している。先日、中央会にも協力を得て、「生産性を向上させる有効な助成金等の活用について」のセミナーを開催し、好評であった。今後も組合員の役に立つような企画をしたり、情報発信を行いながら組合員間の交流を深めて活性化を図っていきたい。
電気機器	鳥羽	受注、発注は8月に入っても好調であるが、トーンダウンした状況が見られる。	
輸送機器	鈴鹿	新型モデルの軽自動車の販売が好調なこともあり、全体的に繁忙である。人手不足もあり、作業員、管理職ともに残業に加えて夏季休暇も交代で休日出勤するなど、休暇を取れない状況である。	
非製造業	小売業	青果	野菜前半：7月からの猛暑と雨不足の影響で高値が続いていた葉物のキャベツ、レタスが降雨があり、入荷が持ち直しつつある。果菜類のキュウリ、トマト、ナスは高値が続いている。野菜後半：雨も降ったことで葉物の状態が良くなり、キャベツは入荷が安定し、価格も平年並みとなった。レタス、ほうれん草も生産が回復している。一方果菜類キュウリ、トマトは価格が高い。果物前半：贈答用ハウスみかん、桃、幸水梨、巨峰、デラウェア等は例年より高い。雨が少なかったため、小さいサイズだが、甘みが多い梨、桃はお値打ちである。果物後半：イチジクはピークが続くお値打ち。梨は品種の切替時期で値上がり。つがるリンゴの入荷が増えてきたが、需要はまだ多くない。秋の果物 柿、栗の入荷も少しずつ増えてきた。
		自転車	学校の夏休み、またお盆休みとして昨年以上の長期休日となった企業も多く、各自転車販売店の状況は先月同様、商品の動き、修理はほとんどなく、閑散としている。平成30年6月8日国土交通省から「自転車活用推進計画」が閣議決定されたとの発表があった。自転車の活用に関する目標及び実施すべき施策18項目を着実に実施するため国が講ずる措置を一覧表に整理し、関係者と連携、協力しながら2020年度まで長期的な展望を視野にいれつつ、今後組合員全体で取り組むこととなる。

報告者名  
報告年月

三重県中小企業団体中央会  
平成30年8月

情報連絡一覧票

集計上の分類業種	具体的な業種 (産業分類細分類相当)	組合等及び組合員の業況等(景況の変化とその原因・現状等、企業経営・業界での問題点)	
小売業	電器	8月は例年のない連日の猛暑の影響により、エアコンが好調に推移した。買換え需要が中心で、エアコン・冷蔵庫が売れ筋で5つ星家電の省エネモデル等の付加価値の高い商品の需要が増えた。またリフォーム需要も顕著な動きをしている。従って家電の全体的にもこの夏は好調な売上とそれに伴う工事を行うことができた。8月後半は夏商戦も終了し、お客様訪問活動を積極的に推進し、秋冬の商戦に備える活動を進める。	
	石油	全国的に異常気象による豪雨や台風の影響により、三重県の一部地域においては燃料販売数量が厳しい状況で推移した所もあったが、全体的8月度の蒸し暑い日が続いた影響により燃料販売については、前年対比100%前後の状況であった。原油価格状況は8月後半より国際情勢の影響において値上げ傾向にある。今後イラン情勢の展開次第ではさらに原油価格が上がる傾向にある。	
	スポーツ	8月末でやっとインターハイが終わった。今現在その後始末に追われている。結果として逆走した台風のため、予定より少し売上は下がったが、例年並みほどになり、ほっとしている。この後も来年は中部地区体育大会、2020年オリンピックイヤーには全国中学生大会、2021年には国体と続く。大きなビジネスチャンスが続くので、頑張りたい。	
非製造業	商店街	熊野市	今年23回目を迎えた和太鼓フェスは、天候にも恵まれ大勢の観客で賑わった。また同時開催された物産展も盛況であった。17日に開催された熊野大花火大会に併せ、同商店街内で開催された「郷土くまの物産展」は今年も学生ボランティアの協力もあり、各出店業者も売り切れが出るほど盛況であった。
	サービス業	旅館	連日の猛暑により、各地の海水浴場、その他アウトドアの施設はどこでも集客が落ちており、宿泊施設も度重なる台風の襲来によるキャンセルと全体的にもお盆の一週間以外は低調であった。しかし全国高校総体の関係者受入施設は外的要因には影響されず、予定通り実績を残したようである。また受入施設から食品衛生事故を出さなかったことが何よりだった。
		測量	例年並みに公共事業が発注され、組合員は1物件づつぐらい仕事がある状態である。
建設業	警備	毎年のことであるが、盆休みで休業が多いところ、今年度は特に猛暑が続いて休業が多かったため、稼働日数が減少した。	
	内装工事業	8月は例年盆休みもあり、あまり売上等思わしくない状況である。今年も対前年比で減少となり、業界全体の景況は悪化となっている。	
建設業	水道工事業 (四日市)	今月は特に大きな変化は見られなかったものの、猛暑や台風など天候による影響は多少受けることとなった。	
	運輸業	トラック	軽油価格上昇のため、収益を圧迫している。

行政庁・中央会に対する要望事項

集計上の分類業種	具体的な業種	行政庁・中央会に対する要望事項、または関心のある事項、意見等
食料品	製麺	今後組合活動も伊勢うどんを中心にレベルアップを行い、H A C C P問題もクリアしていけるように取り組んでいく。今後の支援をお願いしたい。
一般機器	四日市	内需拡大、輸出促進等々、国の政策がなかなか具体的な効果が表れていない。抜本的解決を切望する。
輸送機器	鈴鹿	ものづくり補助金で申請された設備の設置対応で設備メーカーのサービスマンが多忙を極め、突発の修理依頼になかなか対応してもらえない状況である。補助金自体は活用している企業にとってはありがたい制度であろうが、申請期間や納入期日などをもっとフレキシブルにしてもらわないと迷惑を被る企業も多々あることを行政には理解してもらいたい。
サービス業	旅館	住宅宿泊事業法第2条に住宅の定義があり、新たに住宅宿泊事業を開業するため、新築、改築する家屋は対象外となるので、届出については的確に運用してもらいたい。